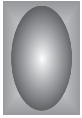


# INFORMATION



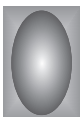
## 2007年度 女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」候補者募集

女性科学者に明るい未来をの会より、「猿橋賞」候補者の推薦を依頼します。下記の要領で応募して下さい。募集内容、応募用紙などは各学会事務局に送付してありますが、電子メールでお申出頂ければ、様式を添付ファイルでお送りします。また、<http://www.saruhashi.net/>からもダウンロードできます。

- 1) 対象：推薦締切日に50才未満で、自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者
- 2) 表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、毎年1件（1名）
- 3) 締切日：2006年11月30日
- 4) 応募方法：所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（800

字程度）、略歴、推薦者（個人または団体）、及び主な業績リストを記入して、主な論文別刷10編程度（2部ずつ、コピーも可）を添え、5) の送付先までお送り下さい。

- 5) 推薦書類送付先：  
〒168-0071 杉並区高井戸西3-6-26  
古在由秀方  
女性科学者に明るい未来をの会  
（封筒には、「猿橋賞推薦書類」と明記して下さい。書類は、猿橋賞選考のために選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承下さい）
- 6) 問合せ先：saruhashi2006@saruhashi.net



## 第1回日本情動研究会

### 情動研究の未来—「こころ」の科学的解明をめざして—

日時：平成18年10月24日（火）  
場所：京都：キャンパスプラザ京都  
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル（JR京都駅ビル駐車場西側）

連絡先：富山大学大学院医学研究科行動科学教室  
Tel：076-434-7480  
Fax：076-434-5180  
e-mail：fukuda@las.u-toyama.ac.jp



## 「第9回若手研究者のための生命科学セミナー」

### ストレスと生活—ストレスマーカーと計測・解析— “ストレスを楽しもう”

日時：平成18年10月13日（金）13：00～19：30  
会場：長井記念ホール（東京都渋谷区渋谷2—

12—15 Tel. 03-3406-3326）  
主催：若手研究者のための生命科学セミナー組織委員会、

(財) 万有生命科学振興国際交流財団

協 賛：日本生理学会 他

講演内容：

1. Opening Remarks, わるいストレスとよいストレス (産総研) 二木鋭雄
2. 唾液マーカーでストレスを測る (富山大院・生命融合科学教育) 山口昌樹
3. 遺伝子で応える細胞のストレス応答 (同志社大・工/東大・先端研) 野口範子
4. ASKファミリーによるストレス応答 —細胞がストレスを感じる仕組みと疾患— (東大院・薬) 一條秀憲
5. 疲労の分子神経メカニズムと疲労克服 (大阪

市大院・医) 渡邊恭良

6. 涙とストレス緩和 (東邦大・医) 有田秀穂

参加費：無料

申込先：ホームページよりお申込みください

<http://www.banyu-zaidan.or.jp/symp/index.html>

連絡先：

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12  
北の丸スクエア

(財) 万有生命科学振興国際交流財団

生命科学セミナー事務局

E-mail: [symposium@banyu-zaidan.or.jp](mailto:symposium@banyu-zaidan.or.jp)

Tel: (03) 6272-1098, Fax: (03) 6238-9128



## お知らせ

「FAOPS Newsletter Vol. 13 No. 1 July 2006」を  
日本生理学会のホームページに掲載いたしました

(<http://physiology.jp/>). ぜひご覧ください。

編集・広報幹事 小西 真人



## 第24回睡眠環境シンポジウム

(日本睡眠環境学会第15回大会)

会期：平成18年10月26日(木)～10月27日(土) 会場：足利市民会館

日本睡眠環境学会主催第24回睡眠環境シンポジウム(日本睡眠環境学会第15回大会)を栃木県足利市で開催いたします。第24回睡眠環境シンポジウムは、「快適睡眠研究のさらなる展開に向けて」と題し、睡眠環境が睡眠にどのように影響するのか、その検証、解析方法等を科学的見知から検討する場にしたいと考えます。また、寝具の性能評価方法に関するセミナーや市民公開講座も開催する予定にしています。また、技術報告の頁を設けますので、睡眠と環境にかかわる製品の開発等についてお願い申し上げます。なお、技術報告は報告集の「技術レポート」に掲載いたします。

足利はフランシスコ・ザビエルによって「坂東(関東の旧地名)にアカデミーあり日本国中もっ

とも古くして大なり」と本国に伝えられた日本最古の総合大学「足利学校」(国史跡)で栄えた学問の都であり、また京都室町幕府を開いた足利家発祥の地です。過去、平成9年にも第13回睡眠環境シンポジウムを足利で開催いたしました。今回も盛大に開催したいと存じますので、多くの会員の皆様にご参加下さいませよう、ご案内申し上げます。

記

大会長：萬代 宰 (足利工業大学睡眠科学センター教授)

大会顧問：小林敏孝 (足利工業大学睡眠科学センター長)

会 期：平成18年10月26日(木)～10月27日(金) 10:00～

会場：足利市民会館（<http://www.watv.ne.jp/~aka-hall/>）（東武線足利市駅からタクシー15分，JR足利駅からタクシー10分）

内容：(1) 招待講演 (2) パネル討論 (3) 公募研究論文の発表 (4) 評価セミナー (5) 市民公開講座

主催：日本睡眠環境学会 共催：足利工業大学

協賛：全日本寝具寝装品協会，全日本ベッド工業会，日本睡眠学会，人間-生活環境系学会，空気調和・衛生工学会，人類働態学会，日本伝熱学会，日本生気象学会，計測自動制御学会，日本生理人類学会，日本家政学会，日本産業衛生学会，日本生理学会，日本ME学会，日本人間工学会，日本機械学会，日本建築学会，日本労働衛生工学会，電気学会，日本冷凍空調学会，繊維学会，日本繊維製品消費科学会，日本住宅設備システム協会，日本繊維機械学会，日本建築協会，日本病院設備協会，日本熱物性学会，全国ビルメンテナンス協会，日本温泉気候物理医学会（予定）

発表申込方法：

E-MAILまたはFAXにて，1) 題目，2) 連名者を含む発表者名（ふりがな）と各勤務先，3) 連絡先（TEL，FAX，e-mailを含む），4) 懇親会参加の有無，5) 発表形式（口頭またはパネル）の希望，を記入して第24回睡眠環境シンポジウム事務局までお申込み下さい。

発表申込締切日：平成18年8月末日，原稿提出締切日：平成18年9月20日

参加申込方法：E-MAILまたはFAXにて，1) 氏名（ふりがな），2) 勤務先，3) 連絡先，4) 懇親会参加の有無，を記入して，お申込みのうえ，参加費および懇親会費をお振り込み下さい。

参加申込締切日：平成18年10月10日

発表参加費（連名者も必要）：

日本睡眠環境学会会員7,000円，非会員14,000円，学生4,000円

参加費：日本睡眠環境学会会員8,000円，非会員16,000円，学生4,000円 ※学生（院生）は要学生証

懇親会費：7,000円

技術レポート：50,000円/2頁

広告：50,000円/1頁，30,000円/半頁（カラーは実費）

参加費等振込先：

郵便振替00150-1-500798（睡眠環境シンポジウム実行委員会）

入会申込先：

日本睡眠環境学会への入会申込みは，日本睡眠環境学会事務局に，ご連絡下さい。年会費は5,000円です。

郵便振替00230-8-45966（日本睡眠環境学会）

実行委員会：

荒川一成（大会事務局長），犬山義昭（大会事務局），齊藤泰彦，石川 徹，橋本知子，杉原喜代美，井川正治，黒田 稔，橋本修左，大井隆志，中村 勤，中島繁雄，鈴木公輔，松下耕平，只野 悟，河野郁夫，菅野浩史，菅原作雄，大出 広，鈴木敏夫，山崎 直，梶井宏修（学会長），川島美勝（学会事務局長）

発表・参加申込先：

〒326-0845 栃木県足利市大前町268

足利工業大学 睡眠科学センター内  
第24回睡眠環境シンポジウム事務局

荒川一成 宛

TEL：0284-62-0605（内線279）

FAX：0284-64-1071

E-mail：karakawa@ashitech.ac.jp

入会申込先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室671-7

日本睡眠環境学会

TEL/FAX：048-723-3606

E-mail：sse@futon-center.com



## 第12回（2007年度）『日本女性科学者の会奨励賞』候補者募集

趣 旨：女性科学者の友好を深め、各研究分野の知識の交換をはかり、女性科学者の地位の向上を目指す。

対 象：自然科学分野の研究実績があり、その将来性を期待できる者で、かつ本会の目的に賛同し、その達成のために努力していると認められる本会会員（応募時入会可）。特に年齢、国籍、性は問いませんが、管理職（教授、部長等）にある方はご遠慮下さい。

奨励賞：賞状および奨励金20万円（年1-3件）。  
本会総会（例年6月）において贈呈。

応募書類請求期間：

2006年10月2日（月）～10月31日（火）

\*必ずハガキでご請求下さい。

応募期間：

2006年11月1日（水）～11月15日（水）必着

決定時期：2007年3月末（郵便にて本人宛通知）

応募書類請求先/送付先：

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科・生命環境科学系・身体運動科学

日本女性科学者の会賞連絡事務局 濱中すみ子  
理事宛

FAX：03-5454-4317

E-mail：hamanaka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp

なお、電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。



## 日本生理学会奨励賞の応募について

日本生理学会では、顕著な研究業績を有するとともに、将来、生理学会で活躍することが期待される若手研究者を奨励することを目的として日本生理学会奨励賞を平成11年度に設立致しました。下記の規定などをご覧の上、積極的に応募されることを希望します。なお、書類提出の締め切りは毎年10月末日ですので、ご注意ください。

### 日本生理学会奨励賞規定

#### 1. (目的)

日本生理学会は、顕著な研究業績を有するとともに、将来生理学会で活躍することが期待される若手研究者を奨励することを目的として日本生理学会奨励賞（以下、奨励賞という）を設ける。

#### 2. (対象)

3年以上の正会員歴を有する満37歳以下の日本生理学会の会員を対象とする。

#### 3. (選考)

1) 応募者の中から毎年若干名を選考する。

2) 奨励賞の選考は奨励賞選考委員会が行う。

3) 選考委員には、直前に文部省学術審議会専門委員（日本生理学会から第一段審査委員候補者として推薦された科学研究費分科会委員）としての任期を終えた日本生理学会会員があたる。任期は2年とする。

4) 選考委員長は選考委員の互選により選出する。

5) 選考実施の細目は申請件数、内容などに応じて選考委員会で検討する。

#### 4. (表彰)

生理学会大会の総会の席上で受賞者を表彰し、賞状及び副賞を贈呈する。受賞者は日本生理学会大会において講演を行う。

#### 5. (改正)

本規定の改廃は日本生理学会常任幹事会で行う。

本則は平成11年4月1日より施行するものとする。

る。

#### 日本生理学会奨励賞選考細則

##### 1. (選考の対象)

奨励賞は個々の論文を対象とするものではない。申請者の研究実績、研究構想と発展性を評価して選考する。対象となる研究の主たる部分が日本国内で行われたものに限る。

##### 2. (会員歴)

- 1) 学生会員であった期間は会員歴に含まれる。
- 2) 会費の納入が無かった期間は含まれない。

##### 3. (応募)

- 1) 応募者は申請書(所定の様式に従い、日本生理学会評議員による推薦のあるもの)、履歴書、主要業績リスト、申請課題に関する800字以内の抄録、申請課題に関連した論文の別冊(印刷中の論文については校正刷りの写し)各10部を日本生理学会奨励賞選考委員会に提出する。

- 2) 応募者の年齢は当該年の12月末日のものとする。

- 3) 公募の締切りは毎年10月末日とする。

##### 4. (副賞の金額)

当分の間1件10万円とするが、状況により改訂することができる。

#### 第7回日本生理学会奨励賞受賞者(平成17年度)

1. 竹内 裕子(大阪大学大学院 生命機能研究科 生体ダイナミクス講座)

「嗅覚シグナル情報伝達メカニズムにおける分子ダイナミクスの解明」

2. 村田 喜理(岡崎統合バイオサイエンスセンター 神経分化研究室)

「電位センサーをもつイノシトールリン脂質ホスファターゼCi-VSPの機能」

#### 第6回(平成16年度) 該当者なし

#### 第5回日本生理学会奨励賞受賞者(平成15年度)

1. 高橋 倫子(生理学研究所 生体膜部門)

「インスリン開口放出機構の解析」

#### 第4回日本生理学会奨励賞受賞者(平成14年度)

1. 小武海 公明(東京慈恵会医科大学 循環器内科)

「無傷心筋における収縮蛋白Ca感受性の評価と生理学的意義」

2. 吉村 由美子(名古屋大学環境医学研究所 視覚神経科学分野)

「大脳皮質一次視覚野における神経回路の情報処理特性と可塑性に関する研究」

#### 第3回日本生理学会奨励賞受賞者(平成13年度)

1. 小林 章子(高知医科大学第二生理学)

「熱産生調節機構の解明」

2. 松下 正之(岡山大学大学院医歯学総合研究科細胞生理)

「蛋白質セラピー法による学習、記憶の分子機構の解明」

#### 第2回日本生理学会奨励賞受賞者(平成12年度)

1. 磯村 宜和(東京都神経科学総合研究所統合生理研究部門)

「大脳皮質錐体細胞の樹状突起におけるシナプス統合およびシナプス可塑性に関する研究」

2. 川田 徹(国立循環器病センター循環動態機能部)

「循環調節のシステム解析と臨床研究への展開」

3. 増田 正雄(東京都老人総合研究所・臨床生理部門)

「中枢神経系による睪臓の機能調節機構研究」

#### 第1回日本生理学会奨励賞受賞者(平成11年度)

1. 神谷 温之(群馬大・医・第2生理)

「海馬シナプス前終末の可塑性メカニズムに関する研究」

2. 佐藤 容子(東京医歯大大学院・認知行動医学・脳行動病態学)

「光学的計測法による中枢神経系の機能形成に関する研究」

3. 飛田 秀樹 (名古屋市大・医・第2生理)  
「神経細胞移植による障害脳機能の再建」
4. 松井 広 (東大大学院人文社会系心理学・博士課程)  
「網膜における興奮性シナプス伝達：双極細

- 胞と神経節細胞からの同時記録による解析」
5. 美津島 大 (横浜市立大・医・第2生理)  
「視床下部GABAニューロンによるGnRHニューロンの制御」

---

日本生理学会奨励賞申請書

平成 年 月 日

日本生理学会奨励賞  
選考委員会委員長殿

申請者氏名：

生年月日：

日本生理学会会員番号：

所属・職：

申請課題：

日本生理学会奨励賞に応募いたしたく、履歴書、主要業績リスト、申請課題に関する抄録、申請課題に関連した論文の別冊を添えて申請いたします。

署名

---

下記の理由により、申請者  
推薦します。  
推薦理由：

を日本生理学会奨励賞受賞者としてふさわしいものと考え

推薦者：所属・職・氏名